

「図書館ボランティア草加」との交流、やっと実現 中央図書館の施設などを見学

活動は返却本の配架や棚の整理、児童書の修理なども

6月6日(火)午後、「図書館ボランティア草加」との交流会を開催しました。2021年11月に申し出をいただいて以降、コロナ感染症流行により延期されてきましたが、やっと実現。2000年4月、東武線獨協大学前駅のそばにある草加市立中央図書館が開館時に設立した「図書館ボランティア草加」の会員8名は午前中に柴又散策を終え、中央図書館に来館されました。

まず、友の会担当の図書館職員による説明と案内で、館内を見学されました。皆さん、自動貸出機や返却など、充実した設備や工夫を凝らした棚の配置など、興味津々で、説明に熱心に耳を傾けながら館内を一周されました。

見学後、葛飾図書館友の会の役員と交流会をもち、まず相互に会の主な活動を説明しました。「草加」の活動は広報部と、書架の整理整頓・児童書の修理、録音図書づくり、絵本の読み聞かせ、布絵本やおもちゃの製作、海外の人たちへの日本語学習のサポート、そして会員親睦のイベント企画などの7つの部で構成されているとのこと。会員数は約100名で、運営費としての年会費は500円、奇数月に発行される会報(L.V.S.ニュース)などの発行物は郵送やメールではなく、会員個人が各図書館で入手するなど、当会とはかなり違った活動内容でした。会員の男女の構成比はほぼ7:3で、年1回秋に新たな会員募集を目的にした“ボランティアガイド”を実施しているとのことでした。

その後、質疑応答に入り、会員の高齢化への対応や会内部の横の交流が難しく、解決案を模索しているなど、共通の問題や懸案が数多く出されました。この交流会は午後4時過ぎに終了しました。



図書館ボランティア草加の皆さん

今年度も開催「第13回葛飾図書館友の会ウィーク」(11/4~11/23) ～「友の会展」を同時開催、「図書館川柳」の発表も～

コロナ禍のために中止していた「友の会ウィーク」を昨年度は3年ぶりに開催し、のべ約450名の方々に参加していただきました。今年度も「第13回葛飾図書館友の会ウィーク」を11月4日(土)から23日(木・祝)まで中央図書館で開催します。

友の会の各クラブ・委員会と、図書館に登録している4団体の参加により、計18のイベントを予定しています。また、友の会ウィークの期間中、中央図書館展示コーナーにて「友の会展」を同時開催し、加えて、9月26日(火)から10月29日(日)の期間に募集した「図書館川柳」の作品を同コーナーに掲示します。

期間中のイベントの日時・内容等を紹介する「友の会ウィーク」の総合プログラム、および各イベントのチラシは10月中に各図書館に配架する予定です。どうぞご期待ください。

「夏休み子ども映画会」を開催 ～『ダンボ』を親子で楽しむ～



昨年度の友の会ウィークで子ども映画会『ムーミン谷とウィンターワンダーランド』を初開催し、好評を得ましたので、今年度、「夏休み子ども映画会」を初めて企画しました。

上映作品はディズニーでおなじみの『ダンボ』です。1941年（昭和16年）にアメリカ合衆国で制作された、カラーのアニメーション映画の日本語吹き替え版です。日本では1954年（昭和29年）に公開されています。サーカス小屋に生まれた子象のダンボは、大きすぎる耳を馬鹿にされ、そのことが原因で母親のジャンボと離ればなれになり、芸では失敗ばかりしていじめられます。しかし、ネズミのティモシーに助けられ、また勇気づけられて、欠点と思っていた耳を使って空を飛ぶことに成功し、サーカスのスターになって活躍していく作品です。

台風の接近を心配しましたが幸いほとんど影響はなく、8月13日（日）に49名（子ども24名、大人25名）の参加を得て無事に開催できました。前回同様、年少の子ども



もたちのためにスクリーン前にゴザを敷き、楽に座って観てもらおうようにしました。

約80年前に作られたとは思えないほどカラーアニメーションの色・音は良好で、64分の程よい長さもあって、年少の子どもたちも退屈することなく、スクリーンに見入っていました。

上映終了後は皆さん笑顔になっておられ、また数名の子どもたちに直接「面白かったよ」と感想を聞くことができ、開催した甲斐があったと思いました。

今年度中にあと一度は子ども映画会を企画し、また、「夏休み子ども映画会」は来年度以降も恒例イベントとして開催できればと考えています。

暑い中に来場していただいた多くの子どもさんと保護者の方々、そして葛飾区立図書館をはじめとしてご協力いただいた多くの皆様に感謝いたします。
(イベントクラブ 北野達也)

第2回「図書館川柳」9月26日から募集開始

図書館に関する“思い”を17字に込めて

「ウィーク」期間中と次号の「通信」で発表

昨年の「友の会ウィーク」で友の会をもっと知ってもらおうと初めて実施した「図書館川柳」は、8歳から93歳の方まで、50名、93句の力作の応募をいただきました。第2回目として下記の内容で実施します。

今回も「本」「読む」「調べる」「学ぶ」「ベストセラー」や「予約・返却」など、日頃図書館に関する思いや希望などを自由に、五七五に込めて詠んで下さい。

中央・立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉の7つの地域図書館に置いてある応募用紙を利用して応募箱に入れて下さい。また葛飾図書館友の会のホームページからでも応募いただけます。

応募作は「第13回友の会ウィーク」期間中の中央図書館内の展示コーナーで発表するとともに、次号の「友の会通信」紙上で発表します。ふるってご参加下さい。



昨年の展示風景

募集期間 : 2023年9月26日（火）～10月29日（日）

展示場所 : 葛飾区立中央図書館展示コーナー

展示期間 : 2023年11月4日（土）～11月23日（木・祝）

応募対象 : 小学生以上で、1人2句まで

メールでの応募アドレス : katsutosyotomo@gmail.com



応募QRコード

区内図書館めぐり 第3回

亀有図書館

「えほんつり」や「としょかんアルバム」

「図書館×講談+（としょかんとかうだんと）」

アイデア、イベント充実の図書館

大通りをちょっと入った中学校の横の、都営アパートの1階に亀有図書館がある。入口には緑豊かな花壇があり、図書館に入る前の私たちの心を癒してくれる。この花壇はボランティアでお世話をしてくれる方々の手によるものだという。



入口を入るとすぐ児童室の、季節感ある明るいイラストが目に入る。何だか心がほわっと暖くなる。そのまま児童室に入ると、亀有図書館ならではのSDGs「えほんつり」のコーナーが目に入る。SDGsの17項目のカードの1枚を釣り上げて、そこに展示してある絵本の中から、1冊借りることができる。楽しみながら大切なことを学べるわけだ。釣りの難しい子どもには、「わなげ」が用意してあった。



児童室の楽しみはそれだけではなく、「としょかんアルバム」という可愛いカードがあり、一日1回図書館へ来た、というだけでシールがもらえる。イベントのある時はキラキラシールがもらえるそうだ。カードは、絵本作家の職員さんが素敵なイラストを描いてくれるので、まったくのオリジナルである。それを図書館カードやスタンプカードと一緒に束にして持っているのは、ほかの図書館では見られない光景だろう。SDGsに関しては夏休み中のイベントとしてスタンプラリーもやっていた。

児童室カウンターと隣り合わせで、一般カウンターがある。どちらも2年前の改修で利用者との間が透明パーテーションになり、顔はよく見えるが直接ではなくなった。コロナ中の改修だったので仕方ないのかもしれないが、ちょっと寂しい気もする。また、それと同時に、予約本が職員さんの手を借りずに、自分で直接、借りられるようになった。初めは戸惑っていた人もいたが、今では慣れてスムーズにいつている。



また、「こち亀コレクション」として、「こち亀」が全巻そろっていて、閉架ではあるが閲覧できる。また、この図書館のテーマ本でもある「戦争と平和」に関する本はかなり充実していてテーマ別にそろっている。

最後に、この館ならではのイベントとして、「図書館×講談+（としょかんとかうだんと）」を5年ほど前から開催している。地元在住の五代目一龍斎貞花さんの口演で、途中コロナで休みもあったが、今年10月で18回目を迎える。この日の講談に合わせて、関連本も揃えられているので、借りることもできるそうだ。

とにかく、図書館へ足を運んで、本や雑誌などに触れて頂きたいと館長さんはおっしゃっていた。図書館離れといわれている昨今だが、地域に根差す地域図書館として、たくさんのアイデアやイベントを考え実行している図書館に働く方々の、熱意と活気が伝わってきた。館を出る時には、「また来てね！」という図書館からの声が聞こえてくる気がした。

（広報委員 山浦敬子）

友の会ホームページをご利用ください（QRコードをスマホでスキャン）



図書館友の会の最新情報をホームページで発信しています。毎月のイベントの情報やチラシ画像も掲載。「友の会通信」「たんしん」のデータもアップ。これまでの「友の会ウィーク」の記録や、キーワード読書会の読書リストも掲載。友の会の会則や入会届もここから入手できます。
<https://katsutomo.jimdofree.com/>

あなたのパソコンやタブレットで、雑誌が無料で読めるって知ってましたか？

葛飾区の電子雑誌閲覧サービスを利用しよう！

電子書籍サービスで自宅にいながら無料で雑誌を読めるってご存じですか？ 葛飾区在住・在勤・在学で利用カードを持っていて、パソコンやスマホから図書の予約をしている方なら簡単な操作で読むことができます。



葛飾区立図書館電子書籍サービス
Katsushika E-book Service

まずは葛飾区立図書館のホームページにログイン。トップ画面の「葛飾区立電子書籍サービス」というロゴをクリック。そして電子書籍の新着資料の画面を

下の方へスクロールすると『TRC-DL マガジン電子雑誌閲覧サービス』がありますので「読む」をクリックすれば『TRC-DL マガジン』という画面に遷移します。なおログインしていないと「借りる」が表示されますが、クリックすると「ログインする」という画面になり、ログインすれば「読む」の表示になります。

『TRC-DL マガジン』画面には新着雑誌、閲覧ランキングに続いて男性ファッション、女性ファッション、男性ライフスタイル、女性スタイル、趣味、ホームインテリア、自動車などのカテゴリごとの雑誌の表紙画像が表示されます。読みたい雑誌の画像をクリックするとその雑誌のページに飛びます。「読む」をクリックすると読むことができます。なお「最新号は館内利用時のみ」と表示されていたらバックナンバーしか読めません。最新号は図書館内でという事ようです。画面の上の検索欄に雑誌名を入れて検索もできます。

なお、延滞している書籍があると、電子図書サービスは利用できません。本はきちんと期日までに返却という事ですね。ざっと数えてみたらこのサービスで読める雑誌は約 180 点あまり。

詳しい雑誌リストはこちら → <https://library.magastore.jp/magalist.pdf>

サンデー毎日、エコノミスト、週刊東洋経済、Newsweek、婦人画報、メンズクラブ、栄養と料理、レイルマガジン、じゃらん、安心、壮快、ELLE、ESSE、PEN、オズマガジン、ディズニーファンなどちょっと読んでみたいと思う雑誌が多く、なかなか充実のラインナップです。

パソコン、タブレット (iPad など)、スマホで閲覧できるのですが、さすがにスマホだとかなり目に厳しいです。また、雑誌の電子版では、紙の雑誌と内容が一部異なる場合や、掲載されないページがあります。利用環境などの詳しい説明は『TRC-DL マガジン』画面右上の「ヘルプ」をたたくと表示されます。

家にいながら読みたい時に、いろいろな雑誌を無料で読めるのでとってもおすすめ！

でもインターネットを利用するのでネットの通信費はかかりますよ。

(広報委員 阿部京子)

☆☆☆☆☆「葛飾図書館友の会」で一緒に活動しませんか！☆☆☆☆☆

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただいて、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？ 友の会の開催イベント時でも直接の入会受付を行っていますので是非ご利用ください。年会費は一般会員 1,000 円、賛助会員は 1 口 2,000 円です。上記の方法が利用できない場合、入会希望者は中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を右記の口座に納入してください。図書館での年会費の直接納入はできません。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、2023 年度年会費とご記入下さい。また 1 口 500 円の寄付も大歓迎です。

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

払込手数料は窓口では 203 円、ATM からでは 152 円です。恐れ入りますが、ご負担をお願いいたします。

入会届は HP (<https://katsutomo.jimdo.com/>) からダウンロードできます。

お問合わせ先：中央図書館友の会担当者(打越さん、吉村さん、川井さん、嶋田さん、佐藤さん) Tel03-3607-9201

色えんぴつ

喜寿をなんとか迎えられたが、知力はもちろん、痛感するのは体力の衰えである。最近、右膝裏と腹部の2回の動脈瘤切除手術を受けた結果、尻の筋肉が減ったように、長く歩くのに支障が出た。たので、自転車利用が以前より増えた▼その自転車だが、向かい風やタイヤの空気が減っているときに中川大橋ののぼりはきつくなつた。エイトとばかり、橋の前から勢いをつけて漕がなければ失速する。また自宅の両側に沢山並んだ駐輪場の細い間を乗ったままでは出られなくなりつつあり、運転に自信がなくなつた▼道交法の改正でヘルメットの着用が努力義務になったので購入しようと思ったが、競輪選手や若者向きのかっこいいカラフルな流線形のものばかり。これはオジサンにとってペダルならぬ二の足を踏む。だからまだ着けていない▼最近、両端に白い自転車のマークやらがペンキで描かれている車道が増えた。自動車と一緒に無理だ、あのレーンを走るのはい、70歳以上はあの車道のレーンの走行は免除？されているようだが……▼事故を起こさないよう、まだバランス感覚が残っているかぎり、ゆつくりでいいから我がアッシーを乗り切っていこう。歩いて10分の図書館に自転車通います。

(広報委員 中里)